

文部科学省（平成29年度委託事業）シンポジウム
「オープン&クローズ戦略時代の共同研究における
成果取扱いの在り方に関する調査」

参加無料
事前登録あり
(詳細は裏面参照)

柔軟な共同研究の成果取扱いの促進に向けて ～さくらツール(通称)の有効活用～

産業界においてオープン&クローズ戦略の重要性が認識され、大学等と民間企業と共同研究の実施件数及び大学等における民間企業からの共同研究費の受入額が年々増加している環境の中で、1対1で行う個別型共同研究のみならず複数の大学等や民間企業が参画するコンソーシアム型共同研究も活発に行われ、共同研究の連携形態は複雑化・多様化してきている。

そのような状況の中、共同研究等成果の社会実装を促進するため、事業化を見据えた総合的な視点で契約交渉・締結が行われるべきという問題意識が存在する。文部科学省においては、そのような問題意識の解消のため、平成28年度・平成29年度の委託事業を通じて、想定される共同研究等成果の事業化態様について複数のバリエーションを示した個別型・コンソーシアム型のモデル契約書とモデル選択にあたっての考慮要素からなる（通称：「さくらツール」）の作成・検討を行っている。

本シンポジウムでは、「さくらツール」の有効活用に向けて、「さくらツール」作成に尽力されている弁護士の林いづみ氏から「さくらツール」の作成背景や取組み内容等について基調講演を実施するほか、大学から正城敏博氏、企業から戸田裕二氏、技術移転機関から大西晋嗣氏を招き、産学連携の現状と展望、「さくらツール」の活用場面や具体的な類型選択、「さくらツール」の今後の活用や改善について、パネルディスカッションを行う。

日時：

平成30年1月18日（木）
14：00～16：30

場所：

日本教育会館 第一会議室

主催： 文部科学省

プログラム

13:30 - 14:00 開場

14:00 - 14:05 主催者挨拶 村瀬 剛太 氏（文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室長）

14:05 - 14:50 基調講演 林 いづみ 氏（桜坂法律事務所 弁護士）

パネルディスカッション

モデレーター

林 いづみ 氏（桜坂法律事務所 弁護士）

パネリスト

14:50 - 16:30 正城 敏博 氏（大阪大学 産学共創本部 テクノロジー・トランスファー部門長）

戸田 裕二 氏（株式会社日立製作所 理事 知的財産本部長）

大西 晋嗣 氏（関西 TL0 株式会社 代表取締役社長）

村瀬 剛太 氏（文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室長）



林 いづみ 氏 (桜坂法律事務所 弁護士)

国内・国外の企業法務や知的財産に関する相談、契約交渉、紛争解決を数多く手がける。検察庁検事を経て 1987 年弁護士登録。規制改革会議委員や知的財産戦略本部員など、政府会議メンバーも務めつつ中央大学法科大学院などで教鞭も執る。その他、弁護士知財ネット事務局長、IoT 推進コンソーシアム運営委員等。知財・国際ビジネスに関するシンポジウム等のモデレータ・講演、論文の出版多数。



正城 敏博 氏 (大阪大学 産学共創本部 テクノロジー・トランスファー部門長)

大阪大学大学院博士後期課程 (情報システム工学) を修了し、大阪大学にて研究を進めたのち、2002 年より産学連携の窓口機関に従事。国立大学法人化に伴う知的財産関連や共同研究講座、ベンチャー支援組織等、特徴ある産学連携制度を整備。現在、知的財産の管理・活用 (技術移転) を担当。大学技術移転協議会理事。



戸田 裕二 氏 (株式会社日立製作所 理事 知的財産本部長)

株式会社日立製作所 理事 知的財産本部長。同社入社以来、知財マネジメント全般を 30 年以上経験。特許調査などを行なう株式会社日立技術情報サービスの取締役社長を歴任。弁理士資格を保有すると共に、米国ロースクールで MIP (Master of IP) 取得。最近では、日本知的財産協会常務理事、東京農工大学大学院工学府産業技術専攻の講師などを務めている。



大西 晋嗣 氏 (関西 TL0 株式会社 代表取締役社長)

2003 年に株式会社クボタに入社、次世代車両の開発に従事、その後、特許事務所を経て、2007 年より関西ティー・エル・オー株式会社アソシエイトとして大学の研究成果の技術移転活動に従事。2012 年同社執行役員、2013 年より同社代表取締役社長、現在に至る。京都大学大学院農学研究科修了。

アクセス

一般財団法人 日本教育会館

<http://www.jec.or.jp/koutuu/index.html>

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋二丁目 6 番 2 号

最寄駅

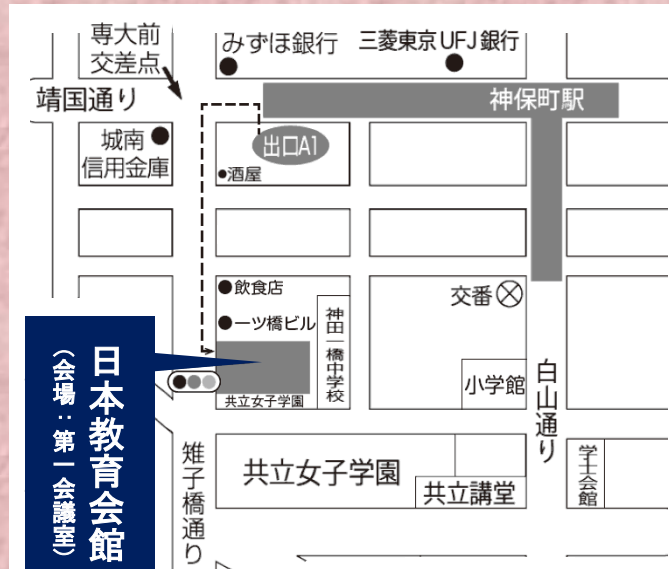
地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅 (A1 出口)

地下鉄都営三田線神保町駅 (A1 出口)

東京メトロ東西線竹橋駅 (北の丸公園側出口)

東京メトロ東西線九段下駅 (6 番出口)

JR 総武線水道橋駅 (西口出口)



※広域地図は左記日本教育会館ホームページをご参照ください。

参加登録

最新のプログラム及び参加申込みはこちらをご覧ください。

(受付締切: 1月15日(月) 正午)

参加費は無料です。なお、申し込みは定員に達し次第、締め切らせていただきます。

<URL: https://www.amt-law.com/sakura-tool_symposium/>

<問い合わせ先>

「オープン&クローズ戦略時代の共同研究における成果取扱いの在り方に関する調査」事務局

Email: project_lambert_YSI2016AMT@amt-law.com